

一. 次の文を読んで中國文にほんせくしてください。 (翻訳) 50/100

米国は連邦国家であり連邦政府と州政府があるが、これに対する二つの税種は連邦税と州税である。この州税は憲法上の原則として州民及び州内の事務に課せられるが、時にはこの州税は州境のみならず国境を越えて適用されることがある。これから州税の域外適用の問題が生ずる。この典型的なものは、州の合算課税方式である。米国の州のあるものは合算課税方式を採用しているが、これによると、州にある企業(会社)の所得に対する課税をする場合、当該企業(会社)の所得の比率に応じて課税をする。関連会社の所得を全て合算し、これを一定の割合で州内企業に配分して課税の本拠とする所得を算出し、これを基に課税を行うというものである。

合算課税方式によると、州本州内にある法人(例を挙げると外國会社の支那子会社)に課税する際、資産額、売上高、給与支払額という三要素の各々につき、州内法人が開運会社グループ(日本(外國親会社、開運会社等)に占める比率を計算し、その比率の平均値をグループ全体の課税所得に乘じて得られた金額を州内法人の課税所得とするわけである。したがって当該州内法人がゼン元本字でも、外國親会社又は開運会社が墨字であれば、すべての所得を合算することになり、当該州内法人に当該法人が課税することなる。この課税方式は、米国の州が自家の税収入を増加させるために創設したものであるが、外國企業の投資につれては阻害要因となるものである。

二. 日文で各自個人の一層思い出にのこったこれまでの経験を述べよ。 (作文) 50/100

(二千五十五) は別紙一零を以て、合算は計算する。(P21)